



全国リレーエッセー
富山県

臨床研修の二年を終え、自治医大の同期生と結婚した私は昨年、富山県にやってきました。自治医大出身の女性医師が増えているこのごろ、自治医大出身者同士で結婚するケースが増えています。

ただ、自治医大出身者は、卒業後に出身県で九年間働かなくてはならないため、結婚となると当人だけの問題ではありません。幸いにも私は、夫の出身地の富山県と一緒に働けるよう配慮していただきました。富山県にやってきたのはこうした理由からです。

北アルプスを望む

ここに赴任して、まず驚いた

夫の地元へ赴任、体験、吸収

ことは、山が目の前に見えること。私の故郷の千葉県は、山は見えませんが、かみいち総合病院からは、晴れた日には素

むことができます。冬の大雪も千葉県では体験できないことの一つです。昨年は暖冬で、雪は記録的に少なかったというのですが、多い年は一晩で車を車庫から出せなくなるほど降るそうです。

患者さんがいれば、その場で採血をしたり、後で薬を郵送したりすることもあります。普段あまり外出せず他人と話す機会のない高齢者にとつて、月二回の巡回診療は、皆で集まる場にもなっています。私たちがとつても、多忙な日常の診療から離れて、のどかな山の空気と患者さんの温かい笑顔にほっと一息つける貴重な時間です。

月に二回、山奥の集落に車で巡回診療に出掛けています。交通手段がなく、病院に通えない人のために、交代制で医師一人、看護師一人が回っています。診療場所は、集会所や患者さんの家などさまざまです。

診療の帰りに、患者さんに教わりながら季節の山菜を摘み、料理の仕方を教わることもあります。教わった通りに作った山菜料理。懐かしく温かい味がして、おいしかったこと。

私の担当地区は、普段は使用していない古い民家で診療していますが、冬は雪で入れなくなるため、その間は車内での診療になります。患者さんの数は、五人で、全員が八十歳以上の高齢者です。高血圧などの慢性疾患が多いのですが、具合の悪い

温かい笑顔に一息

天候や言葉の違いに戸惑いながらも、富山県に来たからこそ体験できることを楽しみながら診療しています。数年後には千葉県で勤務する予定ですが、その時までに富山県でいろいろなることを吸収し、良い所を千葉県でもまねてできればいいと思っています。

(次回予定は兵庫県)

のて 桃子 27期生、2004年卒



病院近くから見える山の風景

上市町かみいち総合病院

【私の勤務地】上市町は富山県の東部にある人口2万3000人の町。東南に、標高2999mの剣岳を主峰とする北アルプスの山々を仰ぐ。かみいち総合病院は、町の中心部に位置し、常勤医師21人、病床数220床の中規模病院。内科、外科、整形外科、脳神経外科など11の専門科を持ち、上市町や隣の立山町の住民の医療を担っている。